

少連協ニュース

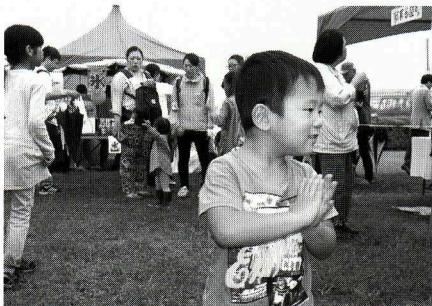
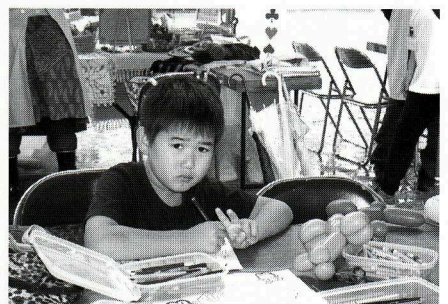
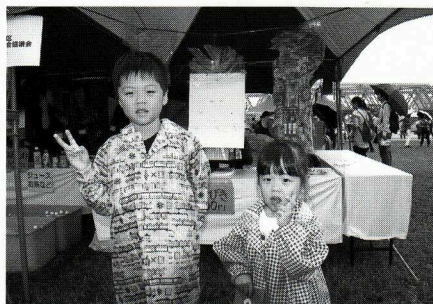
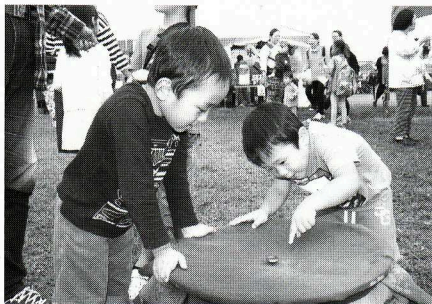
発行所 / 足立区少年団体連合協議会

<http://www.a-shorenkyo.jp>

〒120-8510 東京都足立区中央本町1-17-1 足立区役所

青少年課 青少年事業係 TEL 03-3880-5275

発行人 山本 輝夫
編集 調査広報部
大林 市川 田中 小野田
高澤 鈴木 川下 山岸
高橋 山川 小林



笑顔いっぱいの子どもたち



平成二十八年足立区少年団体連合協議会（少連協）会長就任から早七カ月が過ぎ、改めて職責に身の引き締まる思いです。「少連協ニュース」におきまして、会長就任のご挨拶を述べさせていただきます。

前任の野辺陽子前少連協会長には十一年間にわたり、リーダーシップを発揮していただき、深甚なる感謝と敬意を表するところで、昨年、「足立区少年団体連合協議会創立五十周年」の節目を迎え、先人の功績を称え感謝と近未来を見据える好機と捉えましたが、有意義な実りある一年でした。また、少連協の使命と課題を再認識しつつ、スタートの年に少連協会長の重責を担うことになり責任を痛感しております。

各地区少年団体・スポーツ少年団を合わせ三十一団体からなる、足立区少年団体連合協議会は「未来を担う子どもたちのために、大人として何が出来るのか」をテーマに現場体験主義を貫き、子どもの実体験を通じた学びを第一に推進してまいります。

足立区に限らず網羅する育成会、子ども会、スポーツ少年団は地域の特色を生かした活動がなされ、単位団体の会長を始め指導者の功績が高く評価しなければなりません。さらに素晴らしさを共有できる情報提供を実現します。

少連協創立五十周年事業プロジェクトに組み入れた「大人の責任」はこれからも対峙するテーマです。まずは大人の関わり方、大人が子どもから学び、いかに楽しむかが重要です。少連協の強みは「未来を担う子ども」がキーワードであり理念が明確です。皆様と共に協創してまいります。

人と人を結びつける子どもたちの力に感謝し、家族以外の数多くの「大人やお兄さん、お姉さん、妹や弟」に出会う機会が地域で実現しますよう期待しております。これからは、いっまでも足立区の子どもたちが「ゆたかやさしい、輝く元気な子」でありますよう願ってやみません。

行政・教育委員会とはもとより関係諸機関、関係諸団体の皆様にご指導、ご叱正を賜わりまして、誠実に職責を全うする所存です。



足立区
少年団体連合協議会会長 山本 輝夫

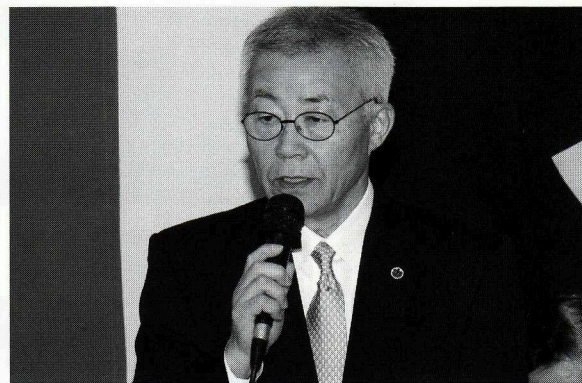
会長就任のご挨拶

新会長に山本輝夫氏

足立区少連協の総会が開催される



野辺陽子前会長



山本輝夫新会長

平成二十八年五月二十一日(土)午後四時から足立区少年団連合協議会の総会が、綾瀬の足立区勤労福祉会館(プルミエ)第二洋室で開催されました。

鈴木健治副会長の司会で始まり、開会のことば、野辺陽子会長の挨拶と進み、総会の議長に鈴木春男副会長、書記に小野田みよ子書記、林俊二書記が選出され、それぞれの議案が満場一致可決されました。今年度は、役員改選の年ではありませんが、長年にわたり会長として貢献された野辺会長が退任され、山本輝夫副会長が会長に選任されました。

新役員は、次のとおり。

- | | |
|--------|--------|
| 会長 | 山本輝夫 |
| 副会長 | 大林英夫 |
| 副会長 | 鈴木春男 |
| 副会長 | 鈴木健治 |
| 事務局長 | 大林英夫 |
| 会計 | 日高佐和子 |
| 会計 | 下島泰則 |
| 書記 | 小野田みよ子 |
| 書記 | 林俊二 |
| 総務部長 | 元井一壽 |
| 調査広報部長 | 市川元一 |
| 事業研修部長 | 清水康弘 |
| 育成部長 | 四宮淳司 |

会計監事 山崎金壽
 会計監事 岩澤明美
 なお、役員・常任理事の退任・新任は次のとおりです。

【退任役員】

- | | |
|-----|----------------|
| 会長 | 野辺陽子 |
| 副会長 | 第十六地少協
加藤俊次 |

【退任常任理事】

- | | |
|--------|------|
| 第一地少協 | 高橋祐次 |
| 第四地少協 | 五味潤彰 |
| 第八地少協 | 菊地賢司 |
| 第十四地少協 | 元井一壽 |
| 栗島地少協 | 松田一穂 |
| 渚江地少協 | 中村博明 |

【新任常任理事】

- | | |
|--------|------|
| 第一地少協 | 加藤富春 |
| 第四地少協 | 多島三好 |
| 第八地少協 | 森田誠次 |
| 第十四地少協 | 鈴木匠 |
| 第十六地少協 | 加藤鈴子 |
| 栗島地少協 | 大庫利之 |
| 渚江地少協 | 小山純一 |

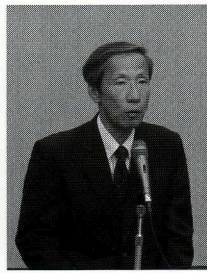
退任されました役員、常任理事の方々には、これまでのご支援、ご協力に御礼申し上げますとともに、これからも青少年健全育成に対し、少連協活動にも変わらぬご支援を賜りますようお願いいたします。総会は滞りなく終了しました。



鈴木春男副会長の閉会の辞



羽住足立区スポーツ推進委員会会長の万歳三唱



保坂足立区立中学校長会会長の中締め



赤間足立区地区対会長連絡協議会会長の乾杯



定野教育長のあいさつ



山本輝夫会長のあいさつ

懇親会



恒例の青い山脈の大合唱

協働から協創へ

足立区少年団体連合協議会

前会長 野辺陽子

人生の半分以上もの永い間取り組んできた子ども会活動、その延長線上にあった少連協の会長を、この度辞することになりました。子ども会を運営していく大人の方の意識の向上や、どうしても少連協自体の発展につながるのかということを中心に私なりにアイデアを出してきたつもりです。各地少協のやる気向上のため「がんばる地少協助成金制度」

その後、午後五時三十分より第一ホールに場所を移動して、懇親会が開催されました。

元井一壽総務部長の司会、四宮淳司育成部長の開会の辞、足立区歌「わがまち足立」斉唱、山本輝夫新会長の挨拶と進み、ご来賓の足立区教育委員会教育長定野司様、足立区議会議長高山のぶゆき様にご挨拶をいただき、来賓紹介と続きました。足立区青少年対策地区委員会会長連絡協議会会長赤間信一様の発声で乾杯し、各テーブル

では、いろいろな話で大いに盛り上がっていました。

会も後半に入り、足立区立中学校長会会長保坂朗様の中締め、足立区スポーツ推進委員会会長羽住敏久様の万歳三唱、恒例の手を繋いで輪になって歌う「青い山脈」の大合唱がありました。最後に鈴木春男副会長の閉会の辞で、楽しく意義のある懇親会を終了しました。

(調査広報部 川田和美)

を立ちあげ、十年限定で進めてきました。足立区中の子ども達が一堂に会し、ニュースポーツであったドッチビー大会の開催。Aフェスタも、全部の地少協が協力して行えるよう分担し会員みんなのフェスティバルとなりました。

また、常任理事との意見交換会を年二回開催し、常任理事たちが気ごころの知れる問柄となるようにと務めました。

多くの会員さんに広く声がけし、バス研修をしましたが、恒例の事業となりました。

こうした改革の中でも特筆すべき

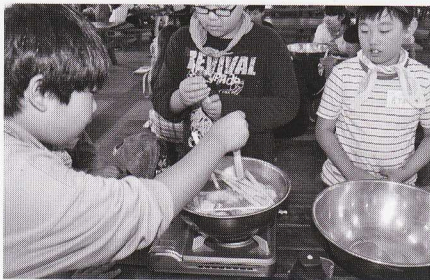
は指導者クラブとジュニアクラブの創立です。育成部の総括のもとに、ジュニアリーダー研修会の講師の方々の「指導者クラブ」と共に「リーダーズクラブ」を設置することができました。

こうして教育委員会などいろいろな方の協力を得て一つ一つの事業が始まりました。

これからは、足立区の基本構想のテーマ、協創の時代です。一人一人の力を結集して創りあげていく、まさに、私達に与えられた使命かもしれません。次の方達にバトンをお渡しする今の私からのエールです。



楽しかったキャンプ
ジュニアリーダー
J
L 宿泊キャンプより



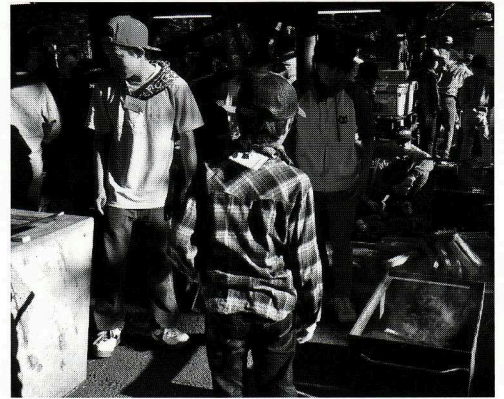
★楽しいキャンプ

六年 清水 歩佳

私はキャンプに行く前は、不安が一つだけありました。それは、知らない人と友だちになれるかです。でも一日目のバスの中で、となりの人とすぐに友だちなれたのでよかったです。そのあと、同じ班の人全員と一日目に友だちになれたので「やった!」と思いました。一日目で友だちになれると思っていなかったのでうれしかったです、びっくりしました。

二日目は、ウォークラリーで最初は、七キロ歩くから「だいたいぶかな!」と思っていました。とちゅう迷ってしまって「まずい!」と思って、すぐつかれたけどみんなでがんばって、ゴールまで行けたのでよかったです。その後、えんにちでいろいろな食べ物があって全部おいしかったです。そして夜のナイトハイクの最初のほうで流れ星が見えてすごうれしかったです。そのあと二人で、暗い中、歩いて少しこわかったです。

三日目は、キーホルダーを作つてうまくできたのでよかったです。それにキーホルダーを作るのは、すごくおもしろかったです。お昼



にやったリーダー探しで、すぐリーダーを見つけたので、それもよかったです。そして、最後の夜のキャンプファイヤーで、歌やゲームをしてすごくおもしろかったです。炎がすごくもえあがったとき、すごいと思いました。いろいろなゲームをして全部おもしろくて、キャンプに来てよかったなと思いました。

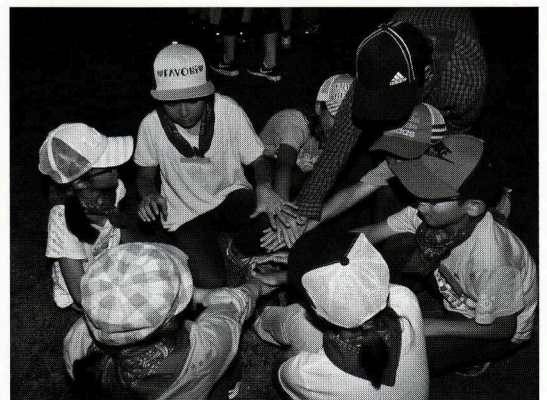
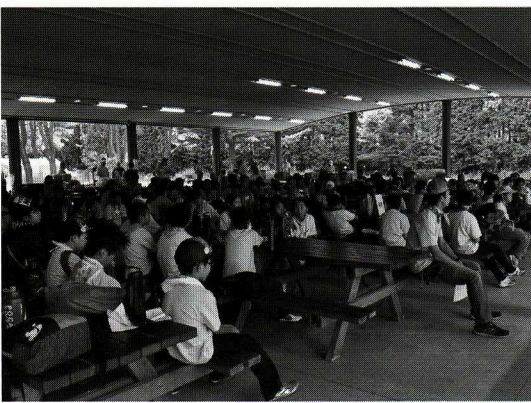
四日目は、最後のお別れする日で、文化祭をしました。班の人と話してがんばって作ったはいくなどを、みんなの前で発表をするのです。みんないっしょけんめい作っていて、発表するのがすごく私たちが発表した後にちがう班の人に「ほのかたちすごいじゃん」と言われてすごくうれしか

ったです。キャンプでは、知らないことがたくさん知ることができたのでよかったです。またキャンプに行きたいなと思いました。本当に楽しかったです。

★とても楽しかった四日間

六年 大久保 爽

ぼくは、今年初めて足立区ジュニアリーダーキャンプに参加しました。最初はともきんちょうしました。最初はともきんちょうしました。ぼくの中で、きんちょうとワクワクがまぎっていました。そしてキャンプの説明会が開かれました。そこで自分の班を知り、新しい友達に出会いました。初めは、ドキドキしてたけど、時間がたつにつれ友達と打ちとけていきました。



八月七日、ついにキャンプ当日になりました。バスに乗り、数時間で静岡県御殿場にきました。皆で集合写真を撮り、リーダーの指示にしたがいキャンプ場へ行き、お昼ごはんを食べました。テントを建てるのがむずかしかったです。が、良い経験になりました。

この四日間で印象に残っているのは「オリピック」というレクリエーションです。チーム戦だったのでチーム一丸となり、がんばりましたが一位になれなかったのでもう少しがんばりました。でくやしかったです。

四日間とても楽しいキャンプでした。来年は、中学生になるので班長として参加したいと思っています。

★ジュニアリーダーのキャンプに行ってみて

六年 佐藤 百々花

私は、三泊四日のキャンプに行きました。キャンプそのものが初めてで出発前は、楽しみよりも不安の方が多かったです。

ですが、キャンプで過ごすうちにだんだん楽しくなりました。

キャンプでは「はんごうすいさん」「ウォークラリー」「ナイトウォーク」「ごてんば縁日」「キャンプファイヤー」などをやったなかで、私が楽しかった思い出は、三つありました。一つ目は、ウォークラリーです。なぜなら、外はとても暑くてつらかったけど、ゴールしたら、達成感を得ることができたからです。

二つ目は、ごてんば縁日です。理由は、この日だけ、おかしを食べられて、その日も暑かったので「かき氷」や「フルーツポンチ」などが食べられたのでよかったです。

三つ目は、キャンプファイヤーです。その理由は、キャンプ最後の夜だったし、キャンプファイヤーも初めてだったので、ワクワクしていたので楽しいかなーと思っていたし、歌を歌ったり、おどっ

たりするのが、すごく楽しかった
です。

このキャンプに行つて、楽しく
参加できて、安全にできたことが
よかつたのと、このキャンプで、た
くさんのけいけんが得られたので
よかつたです。

このためにじゅんびしてくれた、
少連協の方々やリーダー達に感謝
です。ありがとうございます。

★三泊四日の思い出

六年 阿部 莉々加

私は、ジュニアリーダー研修会
のキャンプがとても楽しかつたで
す。色々な班の友達としゃべつた
りしてはしゃぎました。とくに楽
しかつたことは、七キロのウォー
クラリーと、御殿場縁日とキャン
プファイヤーです。

ウォークラリーでは、班でまと
まって七キロを歩きます。七キロ

はとても歩くのがつらかつたけど、
話しながら歩いたので、おもしろ
かつたです。

御殿場縁日は、さまざまなクイ
ズを解いたり、色々な食べ物が出
てきて、とても楽しかつたです。

キャンプファイヤーでは、歌や
おどりなどをしてワイワイしまし
た。とくに、「エンバン体操」や
「コンパクト」、「もぐらのおどり」
などが印象に残りました。

そして最後の日の朝になり、活
動プログラム作りをし、帰る準備
をして東京に帰りました。バスの
中では、仲よくなつた仲間たち
と楽しくはしゃいだりして過ごし、
思い出に残る三泊四日でした。私
は今、小学校六年生なので、ジュ
ニアリーダースーパー研修会に行
きたいなと思いました

いろいろな経験と 思い出いっぱい

那須甲子野外活動

第十四地少協副会長

近藤弥生

夏休みに入る直前の七月十六日

(土) から十八日(月)の三連休に
恒例の那須甲子野外活動が行われ

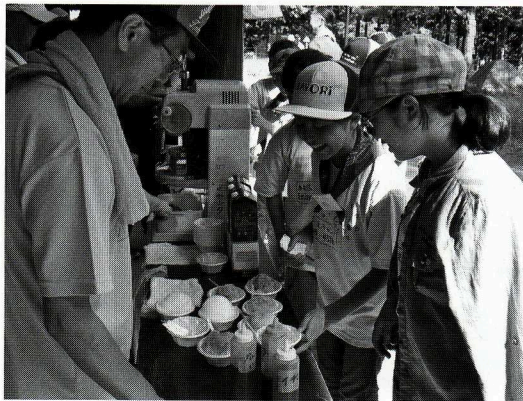
ました。

■一日目

午前七時半にファミリー広場に

集合して、まずは出発式。初めて
親元を離れての宿泊行事に、不安
そうな表情を見せるお子さんもい
ます。家族に見送られていざ出発。
バスの中では、バスが施設に到着
する時間を当てる「到着時間当て
クイズ」や趣向を凝らしたレクで
楽しみました。

到着する頃には緊張した子ども
たちもお互い打ち解けて笑顔がた
くさん見られるようになりました。
バスから降りると東京とはうって
変わって爽やかな空気。到着して
まず始めに開校式です。施設の職
員の方に利用上の注意をうかがい、
その後ピロティで昼食を食べまし
た。昼食後は部屋に行きそれぞれ
自分のベッドの場所を決め、ベッ



ドメイキングも自分で行います。館
内ハイクで施設を見学した後は、
いよいよ野外炊飯のカレー作りで
す。

ご飯を研ぐ、野菜を切るなど、各
班ごとに役割を分担して作業しま
す。ほとんどの子どもが始めて竈
(かまど)で火を焚(た)くので、
薪(まき)が燃えるまでに時間が
かかり苦戦する班もありました。

で上がったカレーはどの班も
美味しく、甲乙つけがたいものが
あります。野外で食べる楽しさも
あり、子ども達の食欲も旺盛でほ
かの班のカレーを試食しに廻つた
りして、楽しい野外炊飯でした。

夜は待ちにまつた肝(きも)試
しです。出発前に校長先生から怖

い話を聞き、始めから半べそをかいているお子さんもいました。

各小学校の先生方もお化けとして各所にスタンバイしていて、子ども達の通過を待ちます。数名ずつのグループで回り、励ましいいながらゴールを目指します。ゴールでは神様に自分の願い事を書いた紙を渡しました。ゴールした後の子ども達のホッとした表情が印象的でした。部屋に戻ってから家族に手紙を書き、夜食を食べて一日目が終了しました。

■二日目

山腹の施設は、追跡ハイクにはもってこいの涼しい朝を迎えました。各班ごとに指定されたチェックポイントで問題に答えていきます。頂上までは、なだらかな道ばかりではなく険しい道も上がらなければなりません。頂上では校長先生が待っていて、記念の写真を撮りました。

午後からは工作の時間です。今年には焼き板づくりをしました。思い思いのデザインで絵を描いたり、自分の名前やメッセージ書いたり、個性豊かな作品ができ上がりました。

夜はお待ちかねのキャンプファイ

ヤーです。火の神様から各班長のトーチに火を点けてもらい、いよいよスタートです。リーダーの先導で歌や踊りで楽しく過ごしました。「はいポーズ」では各班で考えた様々なポーズが披露されました。コミカルな動きがあったりして、大いに盛り上がりました。最後は花火でフィナーレになりました。

■三日目

最終日の午前中はドッチビーやしっぽ取りで汗びっしょりになりながら元氣よく遊びました。家族へのお土産を買った後、閉校式が行われました。初日にやった「バス到着時間当てクイズ」でピタリと時間を当てたお子さんの表彰に続き、追跡ハイクの成績発表です。各班付きの役員が考えた個性豊かな賞が発表された後は、記念写真を撮って那須甲子でのすべての行事が終了しました。たった三日間ではありましたが、友達もたくさんできて、色々な経験をして、思いでいっぱいになりました。

ご協力をいただいた校長先生、小学校の先生方、地域の皆様には大変お世話になりました。改めてお礼申し上げます。



子ども達を宝に 子ども会育成者セミナー

平成二十八年七月三日(日)、足立区少年団体連合協議会では、平成二十八年度子ども会育成者セミナーを開催しました。場所は足立区役所庁舎ホールで、一〇七名の参加がありました。

開会のことを清水康弘事業部長が述べたあと、主催者として、山本輝夫少連協会長、寺島光大青少年課長があいさつをされました。その後はグループディスカッションに入りました。「グループ討議を進めるにあたって」の注意点を



山本会長あいさつ

①子ども会の育成に関わる悩みはいつの時代も変わらないか、学校を通じた人間関係(学校選択制による地域との関わりの減少)が少なくなる、地域での人間関係が希薄になる、会や活動などを作るのは簡単だが、壊れやすい、役員の任期は短すぎる—などの意見が出ました。

また、③グループで話し合うでは、付箋(ふせん) 赤・黄・青



寺島青少年課長あいさつ

でグループを分け、討議しました。④まとめでは、うまくいっていることは悩みの裏返しという意見が印象的でした。

グループディスカッションを終えて、鈴木健治少連協副会長が次のようにまとめました。

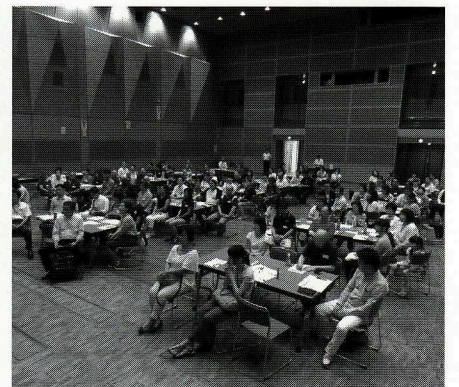
▼足立の子ども達をみなさんの手で宝にしていきたい▼足立区のジュニアリーダーの活動は活発である▼少連協はジュニアリーダーの派遣要請は受付けている。ただし、交通費は各自負担。

最後に、鈴木春男少連協副会長より、ますますよい活動を行い、よい子ども達を育ててくださいとの閉会のことばで子ども会育成者セミナーは幕を閉じました。

(事業研修部 神田明姫)



村上青少年課係長のお話



会場の参加者



グループ討議

編集後記

五月の総会で、会長職の交代という激変が起りましたが、山本新会長の人徳と努力で無事に諸活動を継続できました。これも、ひとえに、少連協の関係者のご尽力と感謝いたします。

これからも、足立の宝・子どもたちのために、一層のご協力をお願い申し上げます。